



2023年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月31日

上場会社名 シミックホールディングス株式会社
コード番号 2309 URL <https://www.cmicgroup.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 中村 和男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO

(氏名) 望月 渉

TEL 03-6779-8000

四半期報告書提出予定日 2023年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	85,816	9.5	10,095	8.8	9,996	4.3	7,636	28.7
2022年9月期第3四半期	78,367	32.5	9,280	159.9	10,440	179.6	5,932	205.2

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 7,334百万円 (31.0%) 2022年9月期第3四半期 5,598百万円 (108.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	442.19	
2022年9月期第3四半期	330.30	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期第3四半期	70,072	38,776	52.8	2,171.24
2022年9月期	107,590	41,269	29.4	1,801.31

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 37,031百万円 2022年9月期 31,624百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期		5.00		45.00	50.00
2023年9月期		5.00			
2023年9月期(予想)				45.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年9月期 期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当10円00銭(創業30周年記念配当)

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	3.2	10,300	13.0	9,000	33.1	7,300	13.0	424.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) ノックオンザドア株式会社、除外 2 社 (社名) シミックCMO株式会社、CMIC CMO Korea Co., Ltd.

(注)詳細は、添付資料9ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料9ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期3Q	18,923,569 株	2022年9月期	18,923,569 株
期末自己株式数	2023年9月期3Q	1,868,037 株	2022年9月期	1,367,340 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期3Q	17,270,428 株	2022年9月期3Q	17,960,464 株

(注)期末自己株式数には、株式給付信託(J-ESOP)が保有する当社株式(2023年9月期3Q158,500株、2022年9月期166,000株)が含まれております。また、株式給付信託(J-ESOP)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2023年9月期3Q162,278株、2022年9月期3Q166,000株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2023年8月1日(火)に機関投資家及び証券アナリスト向けに、オンライン説明会を開催する予定です。説明内容(動画)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10
(企業結合等関係)	11
3. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[当連結会計年度の概況]

当社グループは、製薬企業のバリューチェーンを全面的に支援する独自の事業モデルPVC (Pharmaceutical Value Creator) を持続的成長の基盤として、“個々人の健康価値を最大化”する事業モデルPHVC (Personal Health Value Creator) への展開を目指しております。新規の創薬基盤技術による医薬品開発やデジタル化への対応を強化するとともに、ヘルスケア分野へ事業領域を広げ、予防から診断、治療、予後に至る疾患のトータルケアの支援等を通じて、持続的成長に向けたグループ経営基盤の強化と飛躍を図っていく方針です。

2021年11月策定の中期計画 (FY2022-2025) では、①ヘルスケアビジネスの進展、②疾患予防・治療の研究開発から販売まで総合的な支援の強化、③社会的有益性の高い事業を通じたサステナブルな社会への貢献、を重点課題に掲げております。中期計画2年目となる2023年9月期は、各課題への施策を着実に進めてまいります。

[当第3四半期連結累計期間の業績]

当第3四半期連結累計期間においては、中期計画の重点課題への取組みとして、デジタルと人財の両面から地域社会を支える自治体向けビジネスソリューションの推進や、製薬企業及びバイオベンチャーの新規案件獲得と人財確保に注力しました。

2023年4月にCDMO (医薬品製剤開発・製造支援) 事業における株式会社日本政策投資銀行との資本業務提携解消と、大日本印刷株式会社 (DNP) との戦略的提携契約の締結、それに伴うシミックCMOグループの異動を決定し、当第3四半期連結会計期間においてシミックCMO株式会社、CMIC CMO Korea Co., Ltd. 及びCMIC CMO USA Corporation が連結子会社から持分法適用関連会社となりました。これによりCDMO事業の拡大成長とともに、シミックグループがPVCモデル展開の戦略方針を維持しつつ、ヘルスケアビジネス創出に経営資源を有効活用し、持続的な成長を図ってまいります。

ウクライナ情勢の長期化により、事業への影響が懸念される状況が続いております。当第3四半期連結累計期間において当社グループへの直接的に大きな影響は発生しておりませんが、エネルギー・原材料等の価格や人件費が上昇していることから、価格動向や供給問題について引き続き注視し、事業への影響を最小限に留めるよう取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、主にヘルスケアソリューションセグメントにおける新型コロナウイルス感染症の自治体支援業務の継続と製薬ソリューションセグメントにおける各事業の伸長により、売上高85,816百万円 (前年同期比9.5%増)、営業利益10,095百万円 (前年同期比8.8%増)、経常利益9,996百万円 (前年同期比4.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益7,636百万円 (前年同期比28.7%増) と、前年同期を上回りました。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	78,367	85,816	+7,448	+9.5
製薬ソリューション	56,977	62,840	+5,862	+10.3
ヘルスケアソリューション	21,862	24,102	+2,239	+10.2
調整額	△472	△1,125	△653	—
営業利益	9,280	10,095	+815	+8.8
製薬ソリューション	4,139	4,402	+263	+6.4
ヘルスケアソリューション	6,210	7,007	+797	+12.8
調整額	△1,069	△1,314	△245	—
経常利益	10,440	9,996	△444	△4.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,932	7,636	+1,704	+28.7

セグメント別の業績は以下のとおりです。

<製薬ソリューション>

製薬企業のバリューチェーンに対し、CRO（医薬品開発支援）事業、CDMO（医薬品製剤開発・製造支援）事業、Market Solutions（医薬品営業支援、オーファンドラッグ等の開発・製造販売・流通）事業を通じてソリューションを提供するPVC（Pharmaceutical Value Creator）事業モデルを展開しております。

売上高につきましては、全事業において伸長したことにより62,840百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益につきましても4,402百万円（前年同期比6.4%増）と、増収増益になりました。

CRO事業

- ・売上高は前年同期を上回る
- ・海外バイオベンチャーの日本進出や異業種のヘルスケア領域参入等の総合コンサルティング強化
- ・DX（Digital Transformation）推進やDTx（Digital Therapeutics）参入支援の増加
- ・次世代抗体医薬、核酸医薬、遺伝子治療薬、バイオマーカーなど、モダリティの多様化が進む先端領域の有効性・安全性評価・分析案件増加

CDMO事業

- ・売上高は前年同期を上回る
- ・DNPグループとの事業連携
 - DNPの包装技術とシミックの製剤開発技術の掛け合わせによる付加価値型医薬品開発
 - DNPの医薬原薬のプロセス開発・製造から、シミックの製剤開発・製造に至る一貫体制の確立
- ・新型コロナウイルス感染症拡大やジェネリック品質問題の影響に対し、安定供給の確保に向けたニーズが拡大
- ・エネルギー、原料、包装資材などの価格上昇による製造原価増加
- ・足利注射剤棟は順調に大型案件の生産・販売を開始
- ・米国の業績回復遅れ、新規案件獲得に注力

Market Solutions事業

- ・売上高は前年同期を上回る
- ・人員調整を進める製薬企業がアウトソーシングを加速し、MR派遣市場が拡大
- ・MR派遣業務の引き合いが順調
- ・尿素サイクル異常症治療薬グリセロールフェニル酪酸（海外販売名Ravicti®）の日本国内第Ⅲ相臨床試験開始とこれに伴う研究開発費の増加

<ヘルスケアソリューション>

医療関連施設及び医療従事者等を総合的に支援するSite Support Solutions事業と、個人及び自治体等にヘルスケアの新たなエコシステムを用いたソリューションを提供するHealthcare Revolution事業で構成しております。

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種や陽性者フォローアップ、抗原検査キット販売等の支援が伸長したことにより24,102百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益につきましても7,007百万円（前年同期比12.8%増）と、増収増益になりました。

Site Support Solutions事業

- ・大型の新型コロナウイルス感染症ワクチン開発案件の減少により、売上高は前年同期を下回る
- ・堅調な受注獲得
- ・医療機関の治験事務局支援が拡大
- ・アカデミアとの連携拡充

Healthcare Revolution事業

- ・売上高は前年同期を上回る
- ・新型コロナウイルス感染症関連の支援業務を継続
- ・疾病予防・健康情報やIT技術を融合したビジネスの拡大に取り組む
 - てんかん患者・家族向け支援プラットフォーム「nanacara」の導入医療機関の増加と、「nanacara」を基盤としたサービスの対象疾患拡大
 - デジタル田園都市国家構想に沿った地方自治体の事業支援開始
- ・「harmoワクチンケア」がマイナポータルと連携開始

[経常利益]

当第3四半期連結累計期間の経常利益は9,996百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

なお、営業外収益として助成金収入等110百万円、営業外費用として支払利息等209百万円を計上しております。

[親会社株主に帰属する四半期純利益]

当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は7,636百万円（前年同期比28.7%増）となりました。

特別利益として投資有価証券売却益等3,388百万円、特別損失として固定資産除却損等283百万円、法人税等として5,350百万円、非支配株主に帰属する四半期純利益として113百万円を計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間において、シミックCMO株式会社、CMIC CMO Korea Co., Ltd. 及びCMIC CMO USA Corporationが連結子会社から持分法適用関連会社に移行したことにより、資産、負債、純資産は前連結会計年度末と比べ、著しく変動しております。

資産合計は、前連結会計年度末比で37,517百万円減少し、70,072百万円となりました。これは、有形固定資産、受取手形、売掛金及び契約資産、原材料及び貯蔵品等の減少と投資有価証券、流動資産の「その他」（主に関係会社短期貸付金）等の増加によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末比で35,025百万円減少し、31,295百万円となりました。これは、借入金、流動負債の「その他」（主に未払金）、固定負債の「その他」（主に長期リース債務）、賞与引当金等の減少によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末比で2,492百万円減少し、38,776百万円となりました。これは、非支配株主持分等の減少と利益剰余金、自己株式等の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の通期業績見通しにつきましては、今後の新型コロナウイルス感染症関連の業務の見通しや、ウクライナ情勢による事業への影響等、現時点で入手可能な情報に基づき検討した結果、2023年4月28日に公表いたしました「2023年9月期 第2四半期決算短信」の連結業績予想から変更はありません。

なお、当第3四半期連結会計期間におけるシミックCMOグループの持分法適用関連会社化の影響としては、第4四半期連結会計期間において持分比率に応じた営業外損益を見通しに織り込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,806	12,844
受取手形、売掛金及び契約資産	24,632	16,976
商品及び製品	526	344
仕掛品	4,384	2,403
原材料及び貯蔵品	3,932	910
その他	2,786	7,264
貸倒引当金	△58	△98
流動資産合計	48,010	40,644
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,211	4,860
機械装置及び運搬具（純額）	9,454	371
土地	6,836	1,169
その他（純額）	10,319	2,029
有形固定資産合計	42,822	8,431
無形固定資産		
のれん	32	363
その他	2,260	2,049
無形固定資産合計	2,292	2,413
投資その他の資産		
投資有価証券	3,039	9,487
敷金及び保証金	2,350	2,250
その他	9,793	7,573
貸倒引当金	△719	△728
投資その他の資産合計	14,464	18,583
固定資産合計	59,580	29,428
資産合計	107,590	70,072

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,190	203
1年内返済予定の長期借入金	3,602	1,123
未払法人税等	3,868	1,665
賞与引当金	6,110	1,939
役員賞与引当金	92	—
受注損失引当金	1,225	1,202
その他	19,783	13,310
流動負債合計	35,872	19,444
固定負債		
長期借入金	13,534	1,949
退職給付に係る負債	11,000	9,237
その他	5,914	664
固定負債合計	30,448	11,851
負債合計	66,320	31,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,087	3,087
資本剰余金	6,093	6,093
利益剰余金	24,444	31,196
自己株式	△2,346	△3,271
株主資本合計	31,279	37,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	742	310
為替換算調整勘定	△432	△421
退職給付に係る調整累計額	34	36
その他の包括利益累計額合計	344	△74
非支配株主持分	9,645	1,744
純資産合計	41,269	38,776
負債純資産合計	107,590	70,072

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	78,367	85,816
売上原価	58,806	64,874
売上総利益	19,561	20,942
販売費及び一般管理費	10,281	10,846
営業利益	9,280	10,095
営業外収益		
受取利息	2	7
為替差益	1,222	28
助成金収入	20	33
その他	69	40
営業外収益合計	1,314	110
営業外費用		
支払利息	112	145
持分法による投資損失	—	19
その他	40	43
営業外費用合計	153	209
経常利益	10,440	9,996
特別利益		
持分変動利益	—	38
投資有価証券売却益	—	3,349
特別利益合計	—	3,388
特別損失		
固定資産除却損	71	172
投資有価証券評価損	8	61
子会社整理損	—	49
特別損失合計	79	283
税金等調整前四半期純利益	10,361	13,101
法人税等合計	4,258	5,350
四半期純利益	6,103	7,750
非支配株主に帰属する四半期純利益	170	113
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,932	7,636

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	6,103	7,750
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△432
為替換算調整勘定	△359	13
退職給付に係る調整額	△146	2
その他の包括利益合計	△504	△416
四半期包括利益	5,598	7,334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,638	7,217
非支配株主に係る四半期包括利益	△39	116

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、ノックオンザドア株式会社の実施する第三者割当増資による議決権付優先株式の引受及び発行済の議決権付優先株式の譲受により株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。

当第3四半期連結会計期間において、当社と株式会社日本政策投資銀行とのCDMO（医薬品製剤開発・製造支援）事業における資本業務提携の解消と、シミックCMO株式会社による大日本印刷株式会社に対する自己株式処分及び第三者割当増資の実施により、シミックCMO株式会社並びに同社傘下にあるCMIC CMO Korea Co., Ltd. 及びCMIC CMO USA Corporation は当社の持分比率が低下したため、連結の範囲から除外し、持分法適用の範囲に含めております。当該連結の範囲及び持分法適用の範囲の変更により、当第3四半期連結会計期間末において四半期連結貸借対照表における資産合計及び負債合計が減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社における税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した（追加情報）（新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて）の仮定について重要な変更はありません。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	製薬 ソリューション	ヘルスケア ソリューション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	56,868	21,499	78,367	-	78,367
セグメント間の内部 売上高又は振替高	109	362	472	△472	-
計	56,977	21,862	78,840	△472	78,367
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	4,139	6,210	10,349	△1,069	9,280

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,069百万円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用であり、当社(持株会社)に係る費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	製薬 ソリューション	ヘルスケア ソリューション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	62,057	23,758	85,816	-	85,816
セグメント間の内部 売上高又は振替高	782	343	1,125	△1,125	-
計	62,840	24,102	86,942	△1,125	85,816
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	4,402	7,007	11,410	△1,314	10,095

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,314百万円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用であり、当社(持株会社)に係る費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

(資産の著しい減少)

当第3四半期連結会計期間において、シミックCMO株式会社、CMIC CMO Korea Co., Ltd. 及びCMIC CMO USA Corporationが連結子会社から持分法適用関連会社に移行したため、製薬ソリューションのセグメントの資産の額が前連結会計年度末に比べ37,825百万円減少しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間より、ノックオンザドア株式会社を子会社化したことに伴いヘルスケアソリューションセグメントにおいてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、408百万円であります。

(企業結合等関係)

(連結子会社の異動)

当社は、2023年4月17日開催の取締役会において、当社と株式会社日本政策投資銀行とのCDMO（医薬品製剤開発・製造支援）事業における資本業務提携の解消と、当社連結子会社のシミックCMO株式会社による大日本印刷株式会社（以下、「DNP」という。）に対する自己株式処分及び第三者割当増資の実施（以下、「本自己株式処分及び第三者割当増資」という。）に関する契約の締結並びに当社とDNPとのメディカルヘルスケア分野における戦略的業務提携に係る基本合意書の締結（以下、「本提携」という。）について決議いたしました。

当該取引によりシミックCMO株式会社並びに同社傘下にあるCMIC CMO Korea Co., Ltd.及びCMIC CMO USA Corporation は当社の連結子会社から持分法適用関連会社となりました。

(1) 事業分離の概要

① 分離先企業の名称

大日本印刷株式会社

② 当該連結子会社の名称及び事業内容

シミックCMO株式会社（医薬品の製造、輸出入、販売）

CMIC CMO Korea Co., Ltd.（医薬品の製造、輸出入、販売）

CMIC CMO USA Corporation（治験薬・医薬品の製造）

③ 事業分離を行った主な理由

当社グループとDNPは、自治体へのコロナワクチン接種支援業務の協働、製剤及び包装材の開発技術を組み合わせた注射剤の共同開発や原薬製造拡充の検討を進めております。本提携並びに本自己株式処分及び第三者割当増資により、DNPが長期的な経営パートナーとしてシミックCMO株式会社に資本参加することは、シミックCMO株式会社の拡大成長に資するものであり、当社グループがPVCモデル展開の戦略方針を維持しつつ、ヘルスケアビジネス創出に経営資源を有効活用し、持続的な成長を図ることにつながります。

さらに、当社グループのメディカルヘルスケア分野における幅広い知見に、DNPの強固な経営基盤と高度な技術が加わることでシナジー効果の創出が期待されます。

④ 事業分離日

2023年5月31日（みなし譲渡日2023年6月30日）

⑤ 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

シミックCMO株式会社は、自己株式2,445株（保有比率49.6%）をDNPに対して処分するとともに、DNPに対する第三者割当増資（50株）を行うことにより、DNPは同社の株式を2,495株保有することとなり、シミックCMO株式会社は当社49.9%、DNP50.1%の合弁会社となります。

(2) 実施した会計処理の概要

① 移転損益の金額

シミックCMO株式会社、CMIC CMO Korea Co., Ltd.及びCMIC CMO USA Corporation が連結子会社から持分法適用関連会社に移行したことにより持分変動利益38百万円（特別利益）を計上しております。

② 分離する事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	12,952 百万円
固定資産	37,425
資産合計	<u>50,377</u>
流動負債	9,802
固定負債	23,410
負債合計	<u>33,213</u>

(3)分離する事業が含まれている報告セグメント
製薬ソリューション

(4)当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離する事業にかかる損益の額

売上高	19,784 百万円
営業利益	707

3. 補足情報

受注の状況
受注実績

(単位：百万円)

報告セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)		前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
製薬ソリューション	65,500	79,419	53,602	70,491	80,907	74,742
ヘルスケアソリューション	22,279	17,438	22,915	15,362	29,982	16,139
合計	87,780	96,857	76,518	85,854	110,890	90,882

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 当第3四半期連結会計期間においてシミックCMO株式会社、CMIC CMO Korea Co., Ltd. 及びCMIC CMO USA Corporationが連結子会社から持分法適用関連会社へ移行したことにより、同社の第4四半期連結会計期間以降の販売に係る受注高及び受注残高は含めておりません。